

笑顔がつくる、はつらつ島根。

# とまちやん通信

角ともこ県議会レポート

2010.02.february vol.12-1



美容コースで学ぶ生徒

高校中退・不登校児が  
学べる環境づくり

♥♥♥

通信制高校の調査に兵庫県  
の相生学院高校と京都のつく  
ば開成高校京都校に行つてき  
ました。

全日制高校に適応しにくい  
生徒のために通信制で本人に  
合ったペースで学習し、余裕の  
できた時間で地域でのボラン  
ティア活動やスポーツ、あるいは  
調理師、美容師、ミュージシ

テイア活動やスポーツ、あるいは  
美容コースで学ぶ生徒

高校教育や通信制教育に携わ  
つてこられた土屋和男校長は  
「大学感覚で学べる高校」とし  
て取り組んでいます。生徒は自  
分で時間割を作り通信制で学  
びながら、余裕ができた時間を  
もつとやりたいことに費やし  
ています。スポーツコースでテ  
ニスをする生徒は、このたびの  
近畿地区大会で優勝しました。  
つくば開成高校京都校では、  
子どもたちが実際に授業をし  
ているところも見ましたが、皆  
とても明るく、今までいろいろ  
と悩んできたなどとは思えな  
いほど、意欲的に授業に取り組  
んでいる姿に感動しました。

# 一人ひとりを大切にする政治に

ヤンなど特技を身に着け、活動  
を通じてコミュニケーション  
能力を養い、社会で活動できる

よう育てていく学校の取り組  
みに新たな学校のあり方を見  
た気がします。これまで長い間  
高校教育や通信制教育に携わ  
つてこられた土屋和男校長は  
「大学感覚で学べる高校」とし  
て取り組んでいます。生徒は自  
分で時間割を作り通信制で学  
びながら、余裕ができた時間を  
もつとやりたいことに費やし  
ています。スポーツコースでテ  
ニスをする生徒は、このたびの  
近畿地区大会で優勝しました。  
つくば開成高校京都校では、  
子どもたちが実際に授業をし  
ているところも見ましたが、皆  
とても明るく、今までいろいろ  
と悩んできたなどとは思えな  
いほど、意欲的に授業に取り組  
んでいる姿に感動しました。

以前から隠岐航路は本土の  
国道と同じ、道路の整備には国  
を挙げて行つていて航路  
に関する支援が薄いという  
ことは言われており、隠岐選出  
の門脇議員も議会で何回も取  
り上げています。

隠岐は四つの島に分かれて  
おり、特に海士町・西ノ島町・  
知夫村のある島前と隠岐の島  
町のある島後の間の航路は、島  
前側に不利なダイヤです。冬場  
は便数が少なくなり、隠岐の島  
町での昼間の行事に出るのに  
かかるとその日のうちに帰れ  
ず、もう一泊しなければならな  
いということです。また、せつ  
かく航空便があつても、島前で  
は航空便の時間と船便の時間  
が合わず利用しにくいなどの  
ことが必要です。

♥♥♥  
中山間地域・離島調査特別委  
員会の県内調査として、離島航  
路等について隠岐四町村の関  
係者から実情などを聞く現地  
調査を行いました。



隠岐島の皆さんと意見交換

教室に入ると、島根からみんなに会いに来た人たちですと紹介され、生徒たちもにこやかに迎え入れてくれる、その雰囲気はとても和やかでした。市川一彦校長の学校に向ける情熱は話の端々にあふれ、だからこそ、保護者も学校の活動に参加してくれる



小川総務政務官に要望書を提出

12月12日、女性のための政治スクールで、小川淳也総務政務官に、予定されている地方への一括交付金について、人に配慮した使われ方をする仕組みにするよう要望書を提出しました。

### 総務政務官に要望書



12月12日、女性のための政治スクールで、小川淳也総務政務官に、予定されている地方への一括交付金について、人に配慮した使われ方をする仕組みにするよう要望書を提出しました。

その子の個性を大事にする学校をつくっていくことが必要だと思いました。私たちの頭の中にある高校の姿を今一度考え直し、子どもたちに視点をおき考えていく必要があります。何よりも社会に出ていく準備としての学校です。それぞれの子どもたちが未来に描く自分に近づいていくための学校にしなければなりません。

### 議会での質問

11月議会では、高校中退者への支援について質問をしました。ほとんどの子どもたちは夢

【質問】子どもたちへのいろいろな支援がつくられているが、一貫した形で支援ができるのかと考えるが、知事はどうお考えか。

【知事】それぞれの段階で子どもが健全に育つようにするということが必要。家庭の問題もあり、それを支援するための地域の活動もある。学校での相談の体制、学校での対応もある。

や希望を持って高校へ進学しますが、残念ながら高校になじめず、不登校やあるいは中途退学してしまった子どもたちもいます。高校教育を終えてその先

は社会に出て、地域で生活していかなければならぬなか、高校になじめなくなつた子どもたちへの対応が求められています。義務教育では子どもたちが修了まで学べるよういろいろなカウンセリングとかサポート体制の仕組みができるのですが、義務教育を卒業して高校へ行つたとき、あるいは高校を中退したときの支援が乏しい状況です。

過疎法は10年間の时限立法で、指定を受けた過疎地域の振興を目的に行われる事業について、国が財源の確保を支援するのですが、引き続き新法で対応される方向です。ただ、法律の有効期限については、これまでより短く、6年間になるようです。

戸別所得保障制度についても、自給率アップを目的に取り組まることが基本であり、なによりも農作物を作ることが必要であり、調整田で何も作らないのは対象にならないが、ほのかの方法で対応できないか検討中ということです。いずれにしても自給率を上げていかな

ければならないし、地域社会それぞれ協力し合つて対応しないことはいけないということが大命題ですので、その方向で農業政策は考えられています。

### 仕分け人 蓮舫議員



12月18日、民主県民クラブのメンバーで東京へ行つきました。目的は、今年度で期限が切れる過疎法と来年度から実施される戸別所得保障制度についての勉強会です。



蓮舫議員と国会議事堂前で記念撮影